

つながるための 「言葉」を獲得する

AIの発達により自動翻訳の技術が急激に進化しています。3ページのデータにもある通り、仕事で英語を使っている社会人への最新調査によると、多くの人々が「Google翻訳」や「ChatGPT」などの自動翻訳機能を業務に活用しているようです。

スマホ1台で簡単に他言語の翻訳ができてしまう今、語学を学ぶ意味や、キャリアへの活かし方について改めて考えてみたい。私たち編集部はそう思い、今回の特集を組むに至りました。

まずは言語に関するさまざまなデータからそのヒントを探ります。例えば、小学生のころは楽しく英語を学んでいた子でも、中学、高校と学年が上がるにつれて英語が好きではなくなってしまう傾向があります。その一方で、「英語で話すことが好き」と回答している社会人は、外国人とのコミュニケーションなど、人や世界とのつながりに魅力を感じているようです。

他言語を学び、新たな世界とつながった先に何があるのでしょうか。私たちと共に考えながら、ページをめくっていただけますと幸いです。

赤土豪一(本誌 編集長)